

## 教員コラム

### 【オンライン授業について】 准教授 吉田 景一

ICT教育の推進が叫ばれて久しい。国では、Society 5.0時代に対応したGIGAスクール構想に基づいた教育改革が進行中であり、高速大容量通信ネットワークの整備、クラウドコンピューティング、一人1台端末の実現に向けBYODも活用した環境整備が進みつつある。

GIGAスクール構想実現のためには、自治体、教育委員会、各学校の努力が必要だが、高大接続連携の中で大学が果たすべき役割も大きい。2022年度からは高等学校でも新しい学習指導要領が年次進行で実施され、各教科科目でのICTの活用は勿論、プログラミングを含んだ情報Ⅰが必修化される。ただ、環境や学習指導要領が整備されても授業におけるICTの活用は偏りに授業を実施する教員一人ひとりにかかっている。

今回のコロナ禍は、大学・短大では勿論、小学校から高校におけるオンライン授業の推進という意味で、GIGAスクール構想実現に拍車をかけるように思われたが、自治体や学校によって、かなりの温度差があったように感じる。JGJでは、中等教育期における子どもたちのICT活用能力の差だけでなく、学力差となって表れてくるのではないかと危惧している。

コロナ禍が、今後どのような経過を辿るかの予想は難しいが、この機会に、私達は、GIGAスクール構想の中で教育された学生を迎え教育していくことを想定し、これまでのオンライン授業を通して得た経験や反省を基に、自らの授業において普段からICTの活用を含めた授業改善に取り組んでいくことが求められている。

## 担当授業紹介

### 【子どもと環境】と【保育内容環境】

特任教授 柴 ひろ



イネーブルガーデンの春

この授業は、保育者になるための幼稚園教諭免許状や保育士資格をとるために必要な科目です。人は、誕生してから様々な「環境」の中で生きていきます。人の考え方、感じ方などは「環境」の影響を受けます。

子どもも同じです。この授業を通して、子どもの心身の成長に大切な「環境」はどのようなことを勉強します。子どもにより良い「環境」を提供するのも保育者の大切な役割です。子どもの身近な環境には、遊具・おもちゃ・絵本などの、物の環境（物的環境）、草花・生きもの・季節などの自然の環境（自然環境）、家族・保育者・地域の人などの人の環境（人的環境）があります。

授業では、その一つ一つの「環境」の大切さを、具体的な活動を通して学び、子どもの健やかな育ちにつなげることを考えます。

幸いなことに、甲子園短期大学には構内の敷地に「イネーブルガーデン」と命名された花壇・畑・池・芝生などを備えた庭があります。その庭に出かけ、実際に四季の自然に触れたり、野菜の収穫をしたり、芝生で遊具を使って遊んだりします。このような体験をしながら、子どもにとってのより良い「環境」についての学びを深めていきます。



秋の収穫♡サツマイモ畑とトウモロコシ